



不安あっても周りが支えてくれる

(株)朝倉組 工事部
全中建 南多摩

さとろ あいか
佐藤 愛夏さんに聞く

○仕事の内容について教えてください

私は主に施工管理をしています。実際に現場に行き、写真を撮ったり整理をしたり皆に指示をしたり広報に行ったり、伝票などをまとめています。資格については、バックホウやローラーの免許を取得しました。

○建設業に入ったきっかけを教えてください

父が土木の仕事をしていて、小さい頃によく一緒に現場を見に行ったりしていく中で、どんどん興味がわいていきました。小学生の頃からの夢がこの職業でした。

私は入社して今年で2年目、現場経験は1年目です。

○建設業界の魅力は

嬉しさや達成感もあったり、時には辛かったり、悲しかったりと、さまざまな感情を味わう事が出来、やりがいがとてもある職業だと思います。

○女性としてのハンデや良かった事は

ハンデは、トイレや服です。どんなに覚悟はしていても、女の子にしかないものがある時は、なかなか言えず、気軽に行けない事です。服については、作業服屋さんに行くとき女性の物は少なく、特に私自身小さいので、サイズが無く買えない事です。

良かった事は、嬉しいことを言われたときです。現場に女性がいると明るくなるとか、現場が綺麗とか、住民の方達からは広報などをした時、「男性が来るより女性が来ると安心して話しやすい」と言われた時は、やりがいを感じました。

○女性に対する会社・現場の反応や変わったことはありますか

後から聞いた事なのですが、会社内ではみんながすぐ辞めるだろうと予想をしていたそうです。でも、あっという間に1年が過ぎて、仕事が楽しいと聞いた社内皆さんはびっくりと同時にすごいと驚いていました。

変わったことは、今まで人見知りだった私がこの会社に入り建設関係の仕事をしていく中で、自ら声をかけたり積極的に行動するなど自分自身が変わったことです。

○建設業界に求める改善点はありますか

男の世界とはいえ、トイレの扱い方や言葉の使い方がとても汚いと思いました。今は女性もどんどん増えてきているので、ちゃんとしてほしいです。そして、もっと女性の衣類や靴などでサイズが小さい商品を提供して欲しいです。

○心がけていることはありますか

私は常に笑顔と元気だけは忘れずにいます。そして、落ち込んでしまったら、相談し明日から改善するように心がけています。

○ツライと感じたこと、それでも諦めずに続けてこられたのは

皆に追いつけず、一人浮いていると感じてしまったときや、簡単な計算も出来なかったのは、悔しく辛い現実でした。そして、女だからって馬鹿にされる時は悲しくもあり、悔しくもありました。

それでも続けてこられたのは、上司や先輩方が親身に話を聞いてくれたからです。嫌がらず、アドバイスや時には「それはあなたのここが悪いから」と、改善策を言ってくれたり、会社の方々の支えがあったから、優しさがあるから続けてこられました。

○将来の自分について

2級土木施工管理技士の試験に合格し、現場監督になって、いつかは上司みたいに皆に慕われて、カッコいい監督を目指しています。

○女性の人たちへのメッセージは

辛いことや体力的にも大変かも知れませんが、それでもこの職業に入りたいと思ったなら、不安も沢山あるとは思いますが、恐れずやりたい事を存分にやってください。そして決して諦めないでください。支えてくれる方々は、たくさんいます。女性だからこそ出来ることも必ずあります。入社して1年目の時にこの会社に入ってよかった、楽しいと思える職業であることが1番だと思います。

○大切な時間

ちょっとした少ない時間の何気ない会話や会社での飲み会などの時の色んな人と話せる時間。そんな時間が私にとって大切な時間です。